

(様式 7)

(排出事業者用)

令和 8 年 6 月 1 2 日

長野県知事 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践協定 実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	令和 5 年度から令和 7 年度		
会 社 名	株式会社 島崎組		
住 所	〒398-0002 長野県大町市大町3417		
代 表 者 名	代表取締役 塩原 信一		
業 種	製造業 ・ 建設業		
処 理 施 設 所 在 地 (処理施設を有する場合)	施設名	所 在 地	
担 当 部 署	総務部		
担 当 者 名	西澤 由紀		
連 絡 先	T E L	0261-22-2200	
	F A X	0261-22-0536	
	電子メールアドレス	kk-shimazaki@ag.wakwak.com	
ホームページアドレス	http://www.		

1 総排出量、リサイクル量に関する達成状況

※計画策定時に採用した指標で記入してください。

	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	7 年度目標値	7 年度実績値	6 年度実績値	5 年度実績値
総排出量の推移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)	35.0	180.08	22.9	44.2
リサイクル量の推移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)	35.0	165.93	20.1	42.1
売上高の推移 (円)	400,000,000	529,000,000	376,000,000	341,000,000

2 排出抑制、リサイクルのための取組に対する実績

公共工事においては、共通仕様書に基づき、建設副産物の適正な処理および再生資源の活用を図ることが明示されている。また、建設リサイクル法第9条に則り、建設副産物をその種類ごとに分別することが求められている。

これを踏まえ、再生資源の活用に関する取組方針を定めるとともに、再生資材で設計された工事材料の選定・施工や、工事で使用する再生資源の選定・施工に関する事項を施工計画書に明記した。また、作業に携わる全ての作業員に対し、適正処理の重要性について周知を行い、確実な実施に努めた。

民間工事においても同様に、産業廃棄物の適正処理に取り組んだ。特に建設現場から排出される建設廃棄物については、可能な限り分別を徹底し、混合廃棄物の発生抑制に努めた。

工事内容により排出される廃棄物の種類や量は異なるものの、それぞれの状況に応じた分別・再資源化を実施し、リサイクルの推進に努めている。

※必要に応じ写真等を添付してください。

3 リサイクル製品使用率（％）

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値		過年度実績値	
	7年度 目標値	7年度 実績値	6年度 実績値	5年度 実績値
アスファルト（再生）	100	100	100	100
骨材（再生砕石）	100	100	100	100
全 体	100	100	100	100